

事務事業名		女性等就業相談員設置事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業										
政策体系	政策名	05: 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目										
	施策名	24: 雇用の創出と安定					会計	款	項	目	事業						
	基本事業名	01: 多様な就業機会の確保			☐ 単年度のみ		01	05	01	01	02						
所 属	根拠法令	大船渡市女性等就業相談員設置規則			☒ 単年度繰返 (開始 昭和60 年度 ~)												
	部課名	商工観光部商工観光物産課			☐ 期間限定複数年度 【計画期間】												
	係 名	労政係	電話	27-3111	年度 ~ 年度												
			内線	112	↓ 全体計画欄の総投入量を記入												
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)											全体計画(期間限定複数年度のみ)						
女性等就業相談員1名を配置し、就業を希望する女性や若年者及び就業している女性や若年者の就業相談や職場での問題等について相談に応じる。相談日は週5日午前10時15分～午後5時まで。場所はジョブカフェ気仙。主な業務は、相談員の委嘱、毎月、相談員の報酬の支出。相談員の主な業務は、週5日午前10時～午後5時まで、相談者の相談に応じる。月2回、市へ相談件数の報告を行う。ジョブカフェ気仙の相談員とともに、各種セミナーの運営を行う、必要に応じて、働く婦人の家等の講座の紹介を行う。事業費は、相談員の報酬・共済費、出張旅費などに支出される。											総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金				
													都道府県支出金				
													地方債				
													その他				
													一般財源				
													事業費計 (A)		0		
人件費	正規職員従事人数																
	延べ業務時間																
	人件費計 (B)		0														
	トータルコスト(A)+(B)		0														

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
相談日: 週5日(月～金/10:15～17:00)相談。相談件数: 220件		ア 相談日数	
・女性及び若年者の就労希望者に対する求人情報の提供を行った。		イ 相談件数	
・就労している就労している女性労働者の諸問題について、相談及び指導を行った。		ウ 市広報誌への掲載回数	
・相談を受けた諸問題の処理について、必要ある場合は公共職業安定所、労働基準監督署及び関係機関の協力を得る。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		名称	
相談日: 週5日(月～金/10:15～17:00)相談に応じる。		力 相談者数	
・女性及び若年者の就労希望者に対する求人情報の提供を行う。		キ 気仙管内の求職者数	
・就労している就労している女性労働者の諸問題について、相談及び指導を行う。		ク 市内の就業者数	
・相談を受けた諸問題の処理について、必要ある場合は公共職業安定所、労働基準監督署及び関係機関の協力を得る。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称	
・就業を希望する女性や若年者		サ 相談に対して具体的に指導できた件数	
・就業している女性や若年者		シ	
・就業を希望している市民(来所していない人)(市内の就業者数は、平成17年の国勢調査数値、気仙管内の求職者数は平成19年度月間有効求職者数...5月上旬確定)		ス	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		単位	
・求人情報を得ることができる。		件	
・様々な就業形態を知ることができる。			
・対象者が持つ悩みを軽減又は解決することができる。			
・自分の適性に合った職場に就職することができる。			
結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
就労しやすくなる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)
投入量	事業費内訳	単位						
	国庫支出金	千 円						
	都道府県支出金	千 円						
	地方債	千 円						
	その他	千 円						
	一般財源	千 円	2,238	2,254	2,217	2,165	2,217	2,217
	事業費計 (A)	千 円	2,238	2,254	2,217	2,165	2,217	2,217
	人件費	人	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時 間	20	20	20	20	20	20
	人件費計 (B)	千 円	80	80	80	80	80	80
トータルコスト(A)+(B)		千 円	2,318	2,334	2,297	2,245	2,297	2,297
活動指標	ア	日	241	245	245	243	240	240
	イ	件	312	338	220	191	300	300
	ウ	回	12	12	12	12	12	12
対象指標	力	人	330	338	220	191	270	260
	キ	人	19,689	18,059	18,500	18,000	17,500	17,000
	ク	人	22,644	22,644	22,644	22,644	22,000	22,000
成果指標	サ	件	330	338	220	191	270	260
	シ							
	ス							

事務事業ID	0389	事務事業名	女性等就業相談員設置事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

昭和60年、女性が社会に出て働くケースが増加してきたことから、個々に抱える悩みにきめ細やかに対応するため設置した。当時は、病院介護、在宅介護を希望する相談者への付き添い看護も行っていた。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

求職の相談が圧倒的に多い。(当時は働く場はあるが、職場での悩みが多かったのではないかと)

また、開設当初に比べ、明らかに正社員の求人が減少している。

気仙管内の有効求人倍率は、0.43倍(平成21年1月)と求職者にとっては非常に厳しい雇用環境である。働き方も、パートや派遣社員等の求人が多く、リストラ等により職を離れ、就職できない人が滞留している。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

平成17年度から週5日の相談日開設と相談日が増加したことから、利用者にとっては、いつでも相談に訪れることができると好評である。

ジョブカフェ利用者からは、公共職業安定所より落ち着いた気持ちで相談できると言われている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由] 県(気仙地区雇用開発協会)で実施しているジョブカフェ気仙設置事業と統合できないかと思うが、県財政の悪化からジョブカフェそのものの存在が危ぶまれており、その意味でも市の相談員は必ず残さなければならない。
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 受益者は、現在無料で相談をしているが、有料にした場合、お金がないので相談できない。= 悩みを解決できない。= 就業意欲減退を導くことになるので、受益者負担を求めることは出来ない。

事務事業ID	0389	事務事業名	女性等就業相談員設置事業
--------	------	-------	--------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 相談件数が前年度に比較し、減少しているが、各種セミナーの実施など、業務範囲は拡大している。他の相談員とともに、各種セミナーに出席し女性等就業相談員の資質向上にも役立っているものと思われる。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 従来どおりで構わないと思うが、相談者の内容等に係る傾向については、常に関係機関(公共職業安定所、労働基準監督署、ジョブカフェ気仙、大船渡地方振興局、大船渡商工会議所等)と共に、把握しておかなければならない。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 																							

	(職 名)	原則として施策の主管課長	(氏 名)
4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	商工観光物産課	

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 事業の意図等を的確に把握しており、適切な評価となっている。								
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 関係機関(公共職業安定所、労働基準監督署、ジョブカフェ気仙、大船渡地方振興局、大船渡商工会議所等)と連携しながら、相談者に対して的確な助言ができるよう努める。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
--